

# HSBC 新興国現地通貨建債券オープン（1年決算型）

愛称 エマボン1年

追加型投信／海外／債券

## 償還交付運用報告書

第8期（償還日 2015年7月3日）

作成対象期間

（2015年2月17日～2015年7月3日）

### 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC 新興国現地通貨建債券オープン（1年決算型）」は、この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。

当ファンドは、米ドル建てのルクセンブルグ籍証券投資法人等の投資信託証券への投資を通じて、主に新興国の債券等に投資することにより信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い運用を行いました。ここに運用状況と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### HSBC投信株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング  
《お問い合わせ先（クライアントサービス本部）》  
電話番号：03-3548-5690  
（営業日の午前9時～午後5時）  
ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.com/jp

**HSBC**   
Global Asset Management

償還日（2015年7月3日）

償還価額	10,462円33銭
純資産総額	63百万円
第8期	
騰落率	+3.0%
分配金	－円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、弊社のHP（ホームページ）で下記の手順でご覧いただけます。

＜閲覧方法＞

右記URLにアクセス⇒HP左上の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書（全体版）」の一覧の最新の運用報告書（全体版）を選択すると、当該運用報告書（全体版）を閲覧・ダウンロードすることができます。

※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

▶運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

## 《償還交付運用報告書 目次》

	頁
◆運用経過◆	1
▶ 当期中の基準価額等の推移について	
▶ 基準価額の主な変動要因	
▶ 1万口当たりの費用明細	
▶ 最近5年間の基準価額等の推移について	
▶ 投資環境について	
▶ ポートフォリオについて	
▶ ベンチマークとの差異について	
◆お知らせ◆	6
◆当ファンドの概要◆	6
◆（参考情報）代表的な資産クラスとの騰落率の比較◆	7
◆当ファンドのデータ◆	8
▶ 当ファンドの組入資産の内容	
▶ 組入ファンド等	
▶ 種別構成等（【資産別配分】【国別配分】【通貨別配分】）	
▶ 純資産等	
▶ 組入上位ファンドの概要	
◆ HSBC グローバル・インベストメント・ファンドーグローバル・エマージング・マーケット・ローカル・デットクラスJ1D	
▶ 時価の推移	
▶ 1万口当たりの費用明細	
▶ 種別構成等（【資産別配分】【国別配分】【通貨別配分】）	
▶ 組入上位銘柄	
◆指数に関して◆	11
▶ 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について	

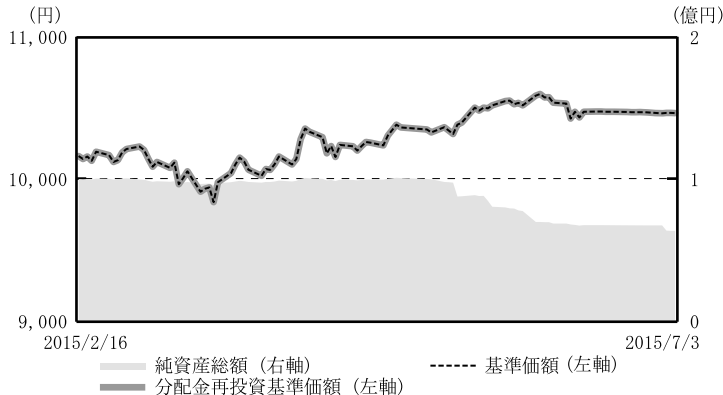
## ◆運用経過◆

## 当期中の基準価額等の推移について

（第8期：2015年2月17日～2015年7月3日）

## ＜基準価額の動き＞

基準価額は、期首（2015年2月16日）の10,159円から償還時（2015年7月3日）は10,462.33円となり、分配金再投資ベースの基準価額は期首に比べ、3.0%の上昇となりました。



第8期首（2015/2/16）： 10,159円

償還日（2015/7/3）：10,462円33銭  
（既払分配金－円）

騰落率：+3.0%（分配金再投資ベース）

\* 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。左記のグラフの推移はそれぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

- ・ 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額（10,159円）と同一になるよう指数化しております。
- ・ 基準価額と分配金再投資基準価額は同一に推移しております。

## 基準価額の主な変動要因

## ＜上昇要因＞

- ・ ロシア、ブラジル、インドなどの各市場における債券利息収益や一部債券市場の上昇（債券価格の上昇／利回り低下）。
- ・ ロシアルーブル、人民元、台湾ドル、ポーランドズロチの対円での上昇。

## ＜下落要因＞

- ・ トルコリラ、ブラジルレアルなどの対円での下落。

## 1万口当たりの費用明細

項目	第8期		項目の概要
	2015/2/17～2015/7/3		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	48円	0.466%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,327円です。 ファンドの運用等の対価 分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
（投 信 会 社）	(18)	(0.170)	
（販 売 会 社）	(29)	(0.284)	
（受 託 会 社）	(1)	(0.012)	
(b) 売買委託手数料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(0)	(0.002)	
(c) その他費用	13	0.123	(c) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 振替制度に係る費用、印刷業者に支払う法定書類に係る費用等
（保 管 費 用）	(5)	(0.047)	
（監 査 費 用）	(2)	(0.018)	
（そ の 他）	(6)	(0.058)	
合計	61	0.591	

(注1) 期中の費用（消費税等の係るものは消費税等を含む）は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

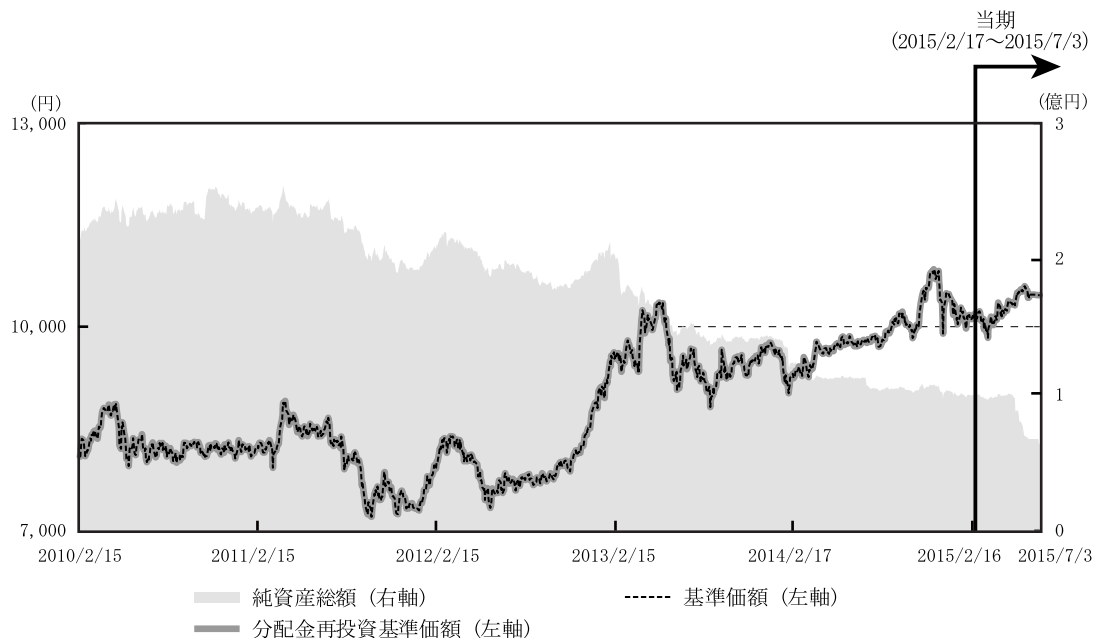
(注4) 「投信会社」は、以下、「委託者」、「委託会社」という場合があります。

(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注6) 委託者は2015年2月1日から2015年6月30日までの期間に、管理会社より811.82米ドルのマネジメントフィーを受領しました。

## 最近5年間の基準価額等の推移について

（2010年2月15日～2015年7月3日）



- ・分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を再投資したもとして計算しております。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なり、また課税条件によっても異なるため、分配金再投資基準価額は一律にそれぞれの受益者の損益状況を示すものではない点にご留意ください。
- ・当ファンドは特定のベンチマークを設定し運用を行うものではありません。このためベンチマークを設定しておりません。
- ・分配金再投資基準価額は、2010年2月15日の値を基準価額（8,087円）と同一になるよう指数化しております。
- ・当ファンドは設定来分配を行っていないため、基準価額と分配金再投資基準価額は同一に推移しております。

	2010/2/15	2011/2/15	2012/2/15	2013/2/15	2014/2/17	2015/2/16	2015/7/3
基準価額（円）	8,087	8,205	8,003	9,524	9,271	10,159	10,462.33
期間分配金合計（税込み）（円）	—	0	0	0	0	0	—
分配金再投資基準価額の騰落率（%）	—	1.5	△2.5	19.0	△2.7	9.6	3.0
純資産総額（百万円）	214	237	210	199	122	99	63

- ・分配金再投資基準価額の年間騰落率は、分配金（税込み）を再投資したもとして計算しております。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なり、また課税条件によっても異なるため、上記の騰落率は一律に受益者の損益状況を示すものではない点にご留意ください。
- ・期間分配金合計および騰落率については、年間の値を表示しております。なお、直近については前期末以降償還日までの値を表示しております。

## 投資環境について

### 【債券・為替市場】

#### <第1期>

2008年2月26日（当ファンド設定日）から同年半にかけて、経済環境が良好な投資対象国を中心として債券、為替ともに堅調な推移となりました。同年半以降は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機により投資対象国の債券や通貨が大きく下落しました。

#### <第2期>

中国の2009年4-6月の実質GDP（国内総生産）成長率が加速するなど「世界経済は最悪期を脱した」との見方が広がったことから投資家のリスク回避姿勢が後退し、新興国の債券や通貨は総じて堅調な展開となりました。

#### <第3期>

投資対象国の債券市場は、主要新興国の景気回復期待やギリシャの財政懸念の後退など、好材料と悪材料が交錯する中で一進一退の展開となりました。為替市場では、投資対象国通貨は総じて円に対し弱含みました。

#### <第4期>

先進諸国の低金利政策の継続と新興国の相対的に高い金利を背景に、新興国債券市場への資金流入が見られました。また、一部新興国で利下げが行われたこと、格付会社により信用格付けが引き上げられたことも、新興国債券の支援材料となりました。一方で、為替市場では、多くの新興国通貨は円に対し弱含む展開となりました。

#### <第5期>

主要先進国の低金利政策により世界的に流動性が拡大する中、世界経済の回復期待などから投資家のリスク選好度が高まり、多くの新興国債券市場は堅調な展開となりました。為替市場では、急速な円安が進み、新興国通貨は対円で上昇しました。

#### <第6期>

2013年5月に、米連邦準備制度理事会（FRB）が米国の量的緩和策の縮小について言及したことから、新興国市場から投資資金が流出するとの懸念が広がり、投資対象国の債券や通貨は下落しました。

#### <第7期>

中東やウクライナにおける緊張の高まり、原油価格の下落、米国の利上げ観測などが悪材料となり、欧州や日本の金融の量的緩和策、米国内債利回りの低下などの支援材料と拮抗する形となりました。為替市場では円安／新興国通貨高となりました。

#### <第8期>（当期）

新興国債券・為替市場は、国・地域によってまちまちの展開となりました。ロシアの債券市場は上昇（利回りは低下）しましたが、他の新興国市場は米国内債利回りに連られた形で金利は上昇傾向となりました。また為替市場では、ロシアルーブル、台湾ドル、人民元、などが対円で大きく上昇しました。

## ポートフォリオについて

### <HSBC 新興国現地通貨建債券オープン（1年決算型）>（当ファンド）

第1期から第5期は、「シノピア・インベストメント・トラスト・シノピア・グローバル・エマージング・ボンド・ファンド クラス J C」（以下「SIT グローバル・エマージング・ボンド J C」）\*の組入比率を80%～99%程度に維持しました。また、投資資金の一部（3%程度以内）を国内外の公社債および短期金融資産に投資するわが国の証券投資信託「HSBCマネープールファンド（適格機関投資家専用）」（以下「HSBC

マネープールファンド」)の投資に振り向けました。

\*「S I T グローバル・エマージング・ボンド J C」は、2011年7月に「HSBC クオッツ・インベストメント・トラスト-HSBC クオッツ・グローバル・エマージング・ボンド・ファンド-クラス J C」(以下、「H Q I T グローバル・エマージング・ボンド J C」)に名称が変更されました。

第6期中の2013年5月に、主要投資対象を「H Q I T グローバル・エマージング・ボンド J C」から「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド-グローバル・エマージング・マーケット・ローカル・デット-クラス J 1 D」(以下、「HSBC G I F E M D J 1 D」)へ変更しました。第6期中、これら主要投資対象ファンドの組入比率を97%~99%程度に、「HSBCマネープールファンド」の組入比率を1%程度に維持しました。

第7期~第8期(当期)は、2015年5月までは「HSBC G I F E M D J 1 D」の組み入れを95%~98%程度と高位に保つ一方、2015年5月には「HSBCマネープールファンド」を売却し、新興国債券を主要投資対象とする上場投資信託(E T F)を2%程度組み入れました。6月には当ファンドの償還に向け、これらのファンドを売却し、コール・ローン等による安定運用に切り替えました。

<シノピア・インベストメント・トラスト-シノピア・グローバル・エマージング・ボンド・ファンド クラス J C>

<HSBC グローバル・インベストメント・ファンド-グローバル・エマージング・マーケット・ローカル・デット-クラス J 1 D>

第1期~第8期の間、これらのファンドでは、ブラジル、メキシコ、トルコ、ポーランド、南アフリカ、インドネシア、マレーシアなどをはじめとする新興国の現地通貨建債券を主要投資対象とし、世界や個別国・地域の経済情勢、市場動向等をモニターし、投資環境により市場配分や債券のデュレーションなどを積極的に決定するアクティブ運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは、特定のベンチマークを設定し運用を行うものではありません。このためベンチマークはありません。

◆お知らせ◆

<約款変更のお知らせ>

・2015年5月12日付

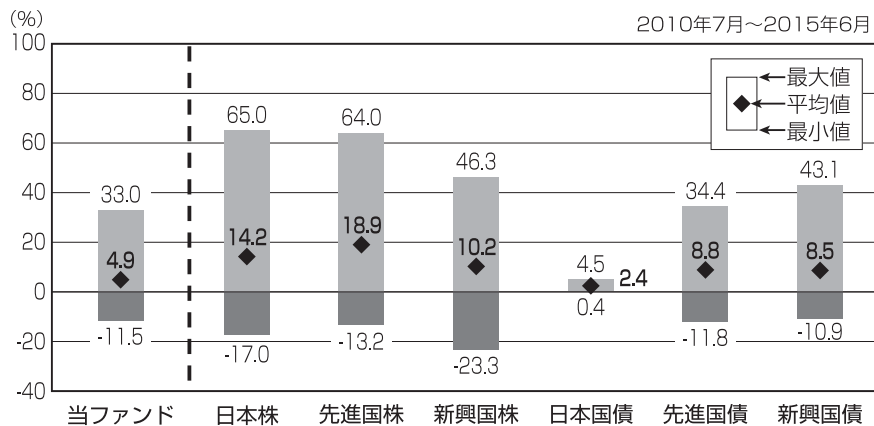
当ファンドの投資対象の一つである「HSBC マネープールファンド（適格機関投資家専用）」を投資対象から外し、これに代えてETF（上場投資信託）を投資対象とする約款変更を行いました。

◆当ファンドの概要◆

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券
信 託 期 間	2008年2月26日～2015年7月3日（当初、2018年2月15日）
運 用 方 針	主として、米ドル建てのルクセンブルグ籍証券投資法人の投資信託証券への投資を通じて、新興国の債券等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主 要 投 資 対 象	米ドル建てのルクセンブルグ籍証券投資法人「HSBC グローバル・インベストメント・ファンドーグローバル・エマージング・マーケット・ローカル・デットークラスJ1D」（「HSBC GIFEMDJ1D」）に投資します。また、新興国債券を主要投資対象とするETF（上場投資信託）にも投資します。
運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託証券への投資を通じて、新興国債券および金融派生商品（デリバティブ）に投資します。</li> <li>・外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
分 配 方 針	<p>年1回の決算時（毎年2月15日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</li> <li>②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。</li> <li>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</li> </ol>



◆（参考情報）代表的な資産クラスとの騰落率の比較◆



グラフは、上記記載の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

- ・上記は、当ファンドの騰落率と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。
- ・当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値と異なります。
- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

【各資産クラスの指数】

日本株：東証株価指数(TOPIX) (配当込み)  
 先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)  
 新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)  
 日本国債：NOMURA-BPI 国債  
 先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)  
 新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円換算ベース)  
 ※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

◆当ファンドのデータ◆

(2015年7月3日現在)

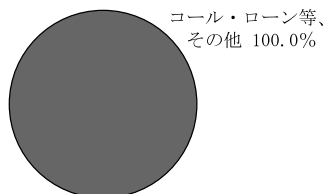
当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド等

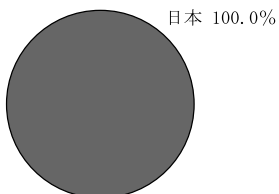
信託終了日における有価証券等の組入れはありません。

種別構成等

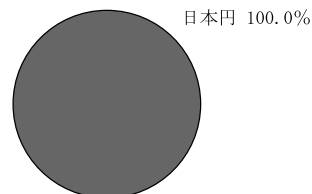
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



・配分は当ファンドの純資産総額に対する比率です。

純資産等

項目	償還日 2015年7月3日
純資産総額	63,209,794円
受益権総口数	60,416,550口
1万口当たり償還価額	10,462円33銭

\*当ファンドにおける期中追加設定元本額は471,682円、期中一部解約元本額は38,197,620円です。

組入上位ファンドの概要 <ご参考>

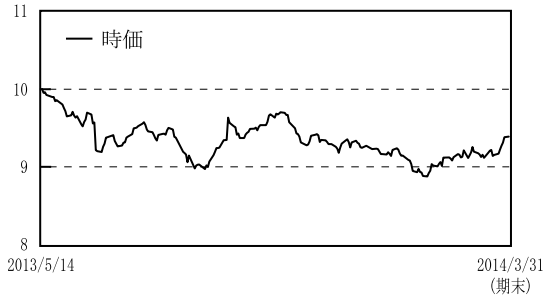
◆HSBC グローバル・インベストメント・ファンドーグローバル・エマージング・マーケット・ローカル・デットークラス J 1 D（以下、「HSBC GIF EMD J1D」といいます。）

※償還時における組入ファンドはありません。以下のデータは、主要投資対象ファンドの監査済み資料として作成時現在で入手できる直近の計算期間に関する情報です。

（計算期間 2013年4月1日～2014年3月31日）

時価の推移

（米ドル）



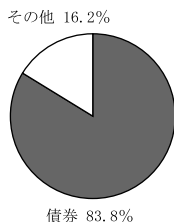
1万口当たりの費用明細

「HSBC GIF EMD J1D」はルクセンブルグ籍の外国籍投資証券であり、1万口当たりの費用明細については開示されていないため掲載しておりません。

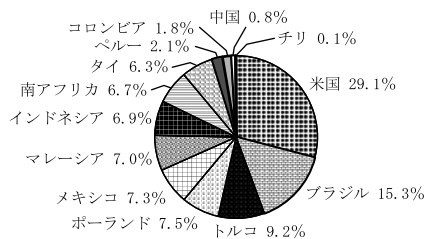
- ・上記は単位当たりの純資産額（米ドル）で表示しております。
- ・「HSBC 新興国現地通貨建債券オープン（1年決算型）」は、2013年5月11日付で主要投資先ファンドを「HSBC GIF EMD J1D」に変更しており、「HSBC GIF EMD J1D」の時価の推移は2013年5月14日以降のデータを表示しております。

種別構成等

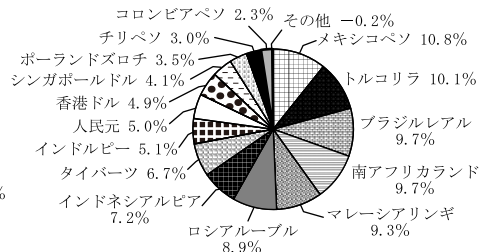
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・上記は「HSBC GIF EMD J1D」の決算日現在のものです。
- ・配分は「HSBC GIF EMD J1D」の純資産額に対する比率です。また、通貨別配分はキャッシュ等を除きます。表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。なお、「HSBC GIF EMD J1D」を含むすべてのクラスを合算して計算しております。
- ・国別配分は、国・地域別による配分です。

## 組入上位銘柄

(組入銘柄数：77)

銘柄名	通貨	格付	比率
TREASURY BILL 14/6/19 0% (米国)	米ドル	AA+	10.2%
TREASURY BILL 14/6/26 0% (米国)	米ドル	AA+	9.2%
NOTA DO TESOURO NACIONAL 17/1/1 10% (ブラジル)	ブラジルリアル	BBB+	6.4%
TREASURY BILL 14/5/8 0% (米国)	米ドル	AA+	4.9%
MEX BONOS DESARR FIX RT 24/12/05 10% (メキシコ)	メキシコペソ	A	3.9%
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA 17/9/15 8.25% (南アフリカ)	南アフリカランド	A-	3.4%
REPUBLIC OF TURKEY 16/9/26 7% (トルコ)	米ドル	BB+	2.6%
INDONESIA GOVERNMENT 24/3/15 8.375% (インドネシア)	インドネシアルピア	BB+	2.6%
POLAND GOVERNMENT BOND 18/7/25 2.5% (ポーランド)	ポーランドズロチ	A	2.1%
NOTA DO TESOURO NACIONAL 8/15/2014 6% (ブラジル)	ブラジルリアル	BBB+	2.0%

\*上記組入上位10銘柄は「HSBC GIF EMD J1D」の決算日現在のものです。

\*比率は「HSBC GIF EMD J1D」の純資産額に対する割合です。なお、すべてのクラスを合算しております。

\*全銘柄に関する情報等につきましては、償還運用報告書（全体版）に記載されております。

## ◆ 指数に関して ◆

## ＜「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について＞

## ▶ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利および東証株価指数（TOPIX）の商標または標章に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。なお、当ファンドは、株式会社東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、株式会社東京証券取引所は、当ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

## ▶ MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）

## ▶ MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI コクサイ・インデックス、MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が公表しているインデックスで、その著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## ▶ NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

## ▶ シティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）

シティ世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

## ▶ JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド（円換算ベース）

JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイドに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。